



安全管理委員会からの耳より情報 VOL. 35



「身体的拘束最小化について考えよう」

今回の「身体的拘束最小化について考えよう」は、患者の安全を守りながら身体的拘束最小化をはかるための多職種協働です。身体拘束を行うことで、せん妄の助長や筋力低下、嚥下機能の低下などをきたし、転倒、外傷、誤嚥の危険性が増加します。そこで、多職種で協働しながら身体拘束を最小化していきましょう。

では、多職種の関わりは、どのようなことがあるのでしょうか？



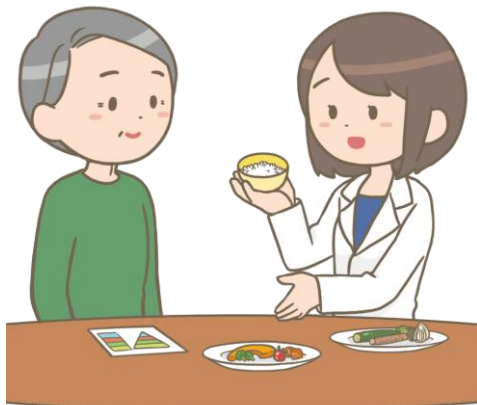
薬剤師による

- ・入院時に、せん妄を引き起こす薬剤チェック&検討
- ・鎮静を目的とした薬剤の適正使用



理学療法士などによる

- ・リハビリ時のミトン等の拘束具の除去



栄養士や言語療法士などとの協働による

- ・経口摂取の促進

★それぞれの専門性を活かした多職種協働での取り組みで、
患者の安全を守りながらの身体的拘束最小化に繋げましょう★

[出典・参考資料]

令和6年度 診療報酬改定 I-1 より 厚生労働省